

電波新聞

2023年(令和5年)
12月14日
(木曜日)

発行所 電波新聞社
東京本社
〒141-8715
東京都品川区東五反田
1-11-15
☎03(3445)6111(大代表)
大阪本社
〒541-0045
大阪市中央区道修町3-2-6
(ウエムラビル4階)
☎06(6203)3361(大代表)
©電波新聞社 2023

波リミ

山梨県立甲府工業高校で行われたU-16山梨プログラミングコンテストの最終審査を先週末手伝った▼作品は毎年進化し続けている。対戦型ゲーム「CHaser」上でアイテムゲットを自律プログラムで競う「競技部門」と、独創性とプログラム技術を競う「作品部門」が審査された▼作品部門は小4〜中1の7人がScratch3.0、HTML、Unityで作った作品を10分間の発表と5分の審査委員との質疑応答で訴求する方式で審査▼事前に作品のプレゼンとプログラムが送付され、今年の候補者の優

秀さが分かり期待して審査に臨んだ。金賞は笛川中学1年青柳篤司君のVRゲーム「VRの世界を救え！」が獲得した。コーナーを装着しコントローラーを持ったお父さんがデモして本人が解説する姿はほほ笑ましかった▼ふとVRの伝道師GORoman||近藤義仁氏のことか頭に浮かんだ。「小2で『マイコンBAS ICMガジン』と、すがやみつる先生の『こんにちはマイコン』でプログラミングをマスター」(同氏著「ミライをつくらう! VRで紡ぐバーチャル創世記」)した異才。講評で近藤氏の活躍を話したら参加家族は目を輝かせて聞いてくれた。寺子屋活動が日本を支えている。